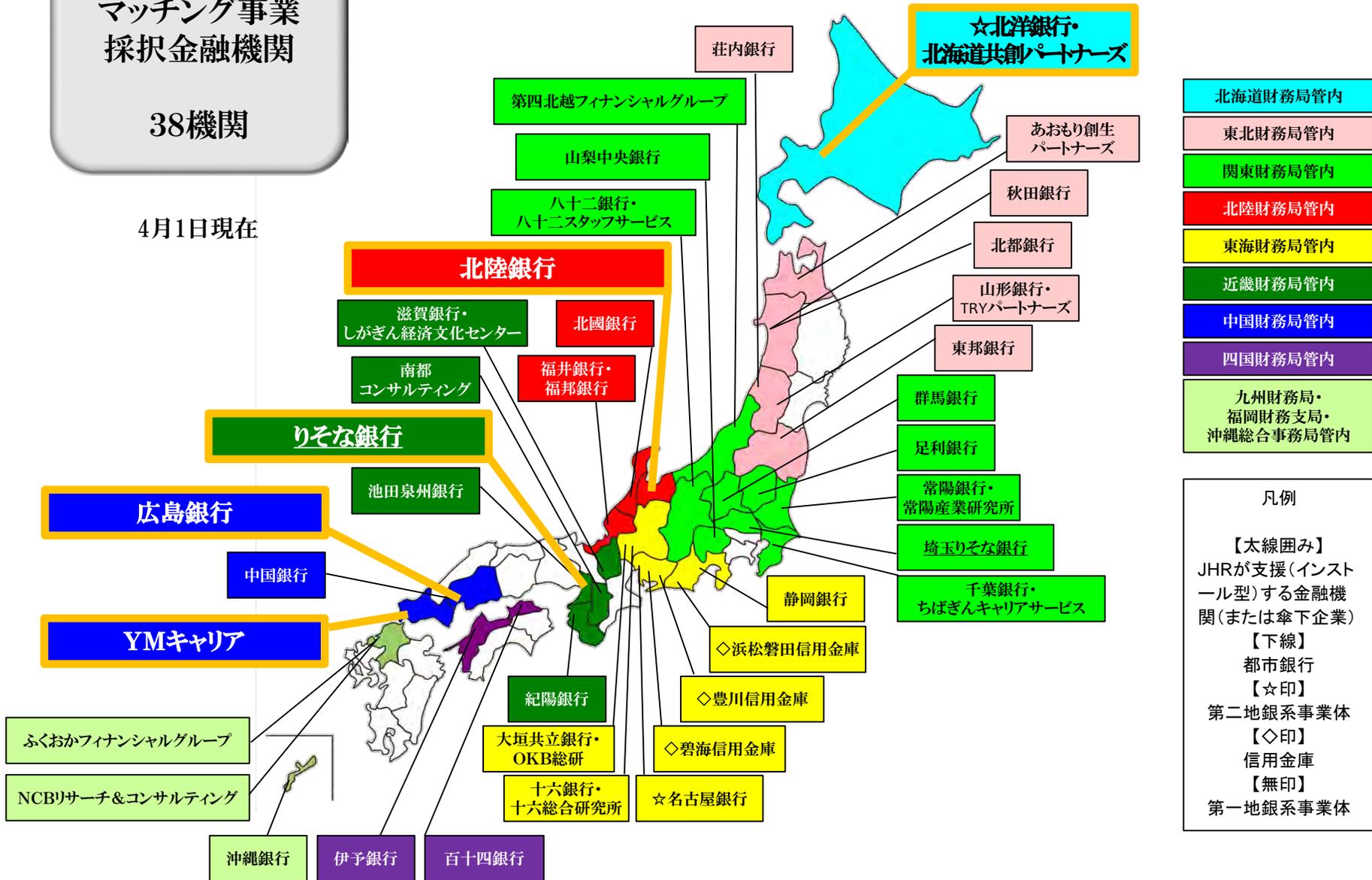


先導的人材
マッチング事業
採択金融機関

38機関

4月1日現在



首都圏人材の現状

地方転職啓発メディア

「地方企業×幹部求人」
マッチングメディア

GLOCAL
MISSION
Times

地方創生分野 NO1メディアに

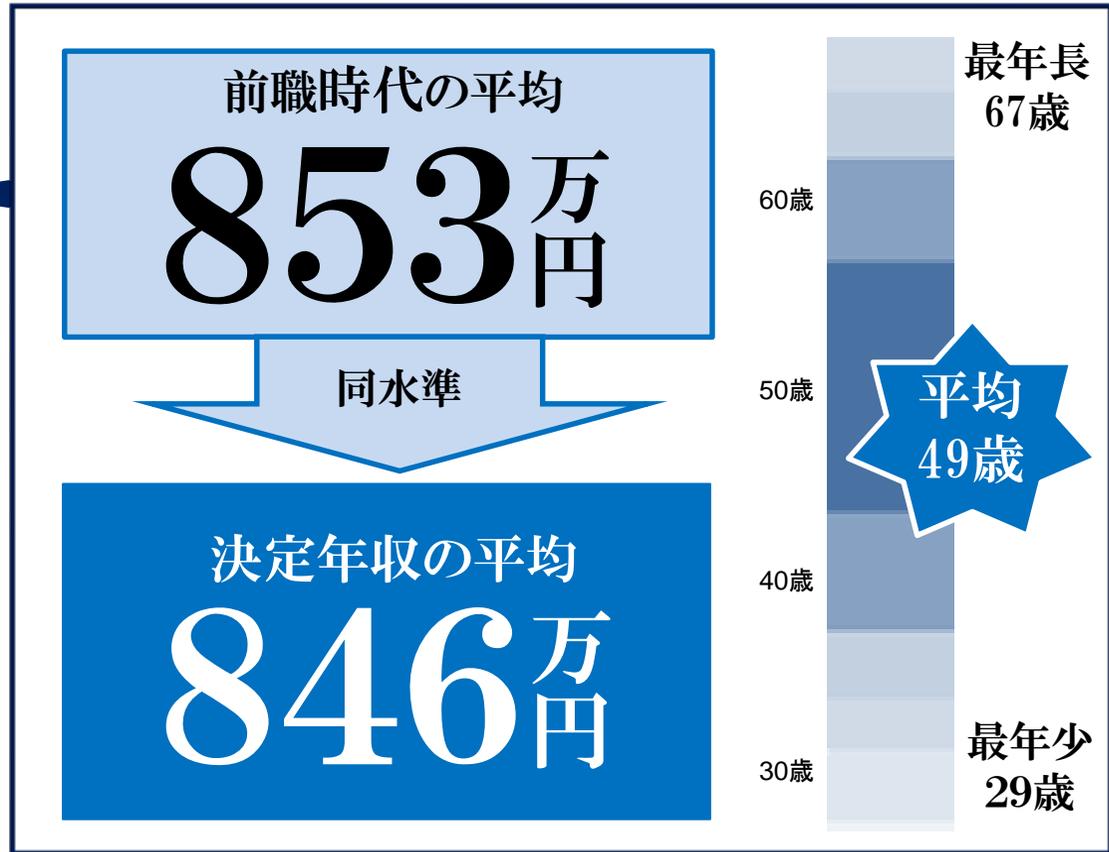
GLOCAL
MISSION
Jobs

一求人当たりの応募数が
大手転職サイト水準に到達

今後民営化を予定

総件数
559件中

人材紹介
189件



伴走型支援サービスが機能

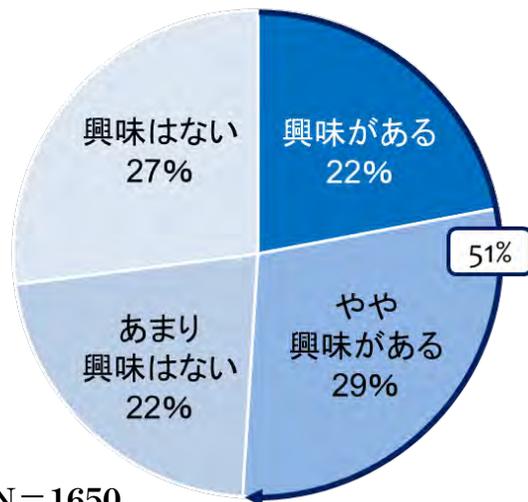
仕事が面白ければ
人は動く

経営幹部であれば
高年俸は実現可能

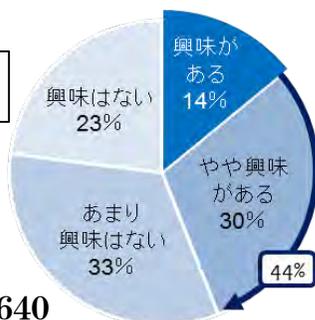
当たり前になりつつある地方転職(2019年度首都圏管理職就業意識調査)

地方企業への興味は14%→22%に

Q：地方企業（東京・大阪・名古屋などの主要都市を除く）で働くことに興味はありますか？

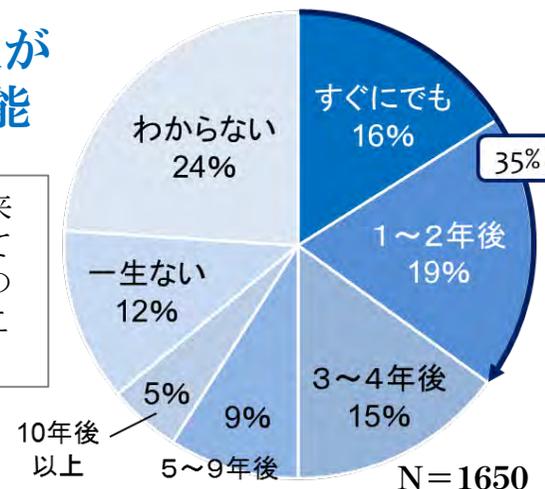


(参考)
2016年度



魅力あるオファーなら 3分の1が 1～2年後までに地方転職可能

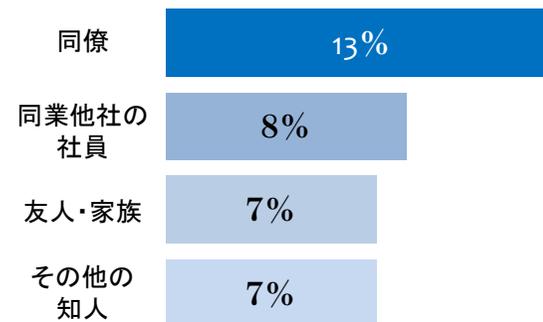
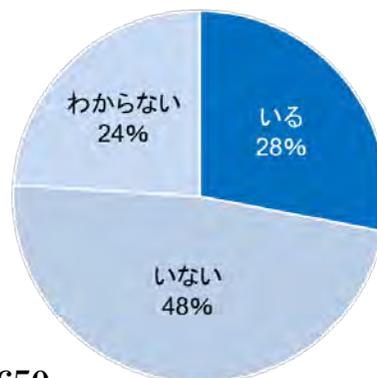
Q：十分に魅力のあるオファーが来ると仮定して、あなた自身にとって、どのタイミングであれば、地方の中堅中小企業（への転職を考えることができますか？



“周囲の地方転職”を28%が目撃

Q：あなたの周りの首都圏のビジネスパーソンで、最近2～3年のうちに地方の中堅中小企業（売上高10～100億円程度）に転職された方はいますか？

Q：左で「いる」と答えた方に質問です。周囲のどのような方が地方の中堅中小企業に転職されましたか？（複数回答）

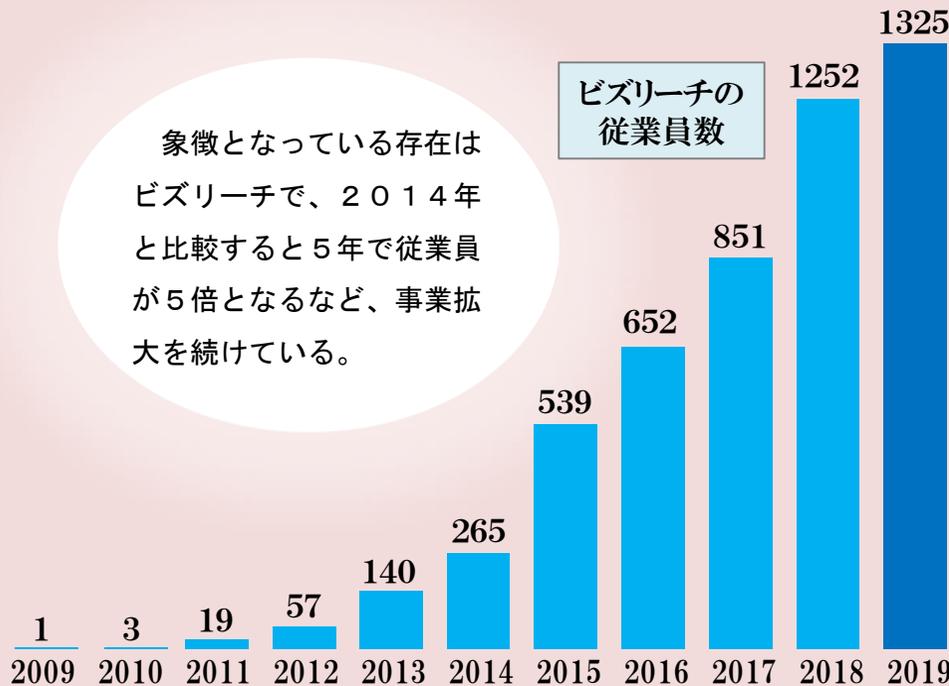


民間人材データベースの成長

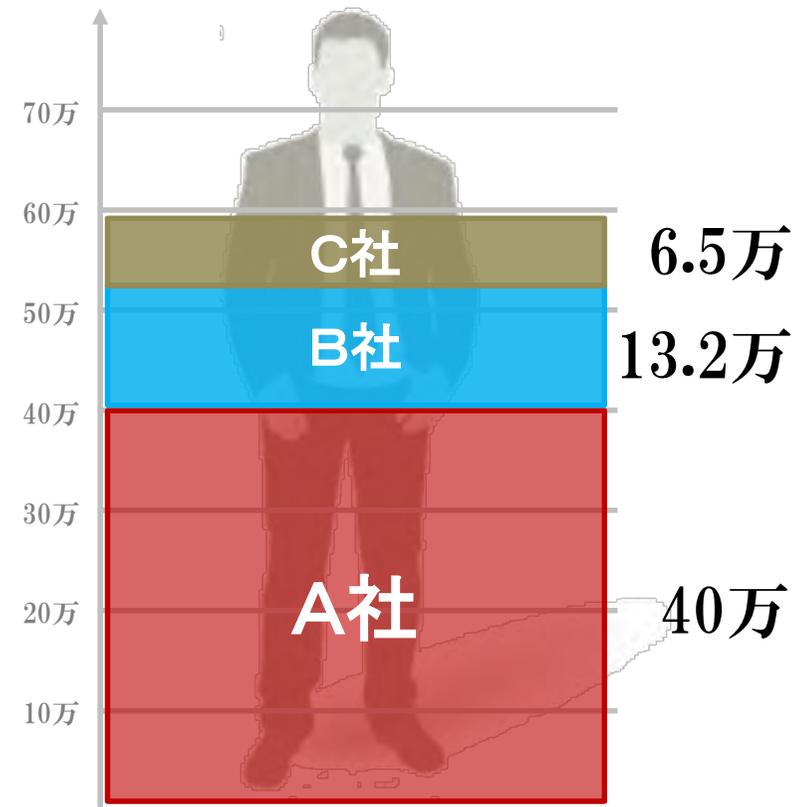
かつては各人材紹介会社が、“門外不出”のデータベースを持ち、それが人材紹介会社の強みとなっていた。近年、こうした“囲い込み”を覆し、企業や人材会社等がニーズに合わせて幅広く利用できる人材データベース(転職希望者が自ら登録)が急成長を遂げた。特にハイクラス層(概ね700万円以上)DBは大きく市場を広げた。

象徴となっている存在はビズリーチで、2014年と比較すると5年で従業員が5倍となるなど、事業拡大を続けている。

ビズリーチの従業員数



転職活動中の60万人にアクセス可能



まとめ

まとめ

地方企業に必要な支援は「伴走型」

最適な担い手は、地域金融機関

首都圏人材は、仕事が面白ければ動く

候補者へのアクセスは容易に

官から民に主役が交代する時期が到来

株式会社日本人材機構
代表取締役社長

小城武彦

おぎ・たけひこ

- 1984年 通商産業省(現経済産業省) 入省
1997年 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 入社
2002年 同社 代表取締役常務
2004年 株式会社産業再生機構 入社
カネボウ株式会社 代表執行役社長(出向)
2007年 丸善株式会社 代表取締役社長
2010年 丸善CHIホールディングス株式会社 代表取締役社長
2015年 株式会社日本人材機構 代表取締役社長(現職)

兼職 株式会社西武ホールディングス 社外取締役
株式会社ミスミグループ本社 社外取締役
金融庁参与、経済産業大臣官房参事
学校法人 至善館 理事



東京大学法学部卒

プリンストン大学
ウッドローウィルソン大学院修了
(国際関係論専攻)

東京大学大学院
経済学研究科博士課程修了
博士(経済学)(専門 経営組織論)



新しい人、新しい地方へ。

日本人材機構

JAPAN HUMAN RESOURCES